

本道に取り組む

同省は、今回の留保解除に伴う補助事業などの追加配分により、全国で追加配分により、全国で総額199億円の事業費が追加される見込みでいる。道内では国費約5億円を配分するのに、事業費ベースは95億5500万円規模になると試算している。

道内に配分されたのは、75の計画に対する資金を整備総合交付金50億9310万1000円のみで、2011年度当初に満額配分を受けていた補助事業に追加はない。

(3)

国土交通省が公共事務に取り組む

国土交通省は、公共事業・施設費の5%留保解助事業などに追加配分した。本道には、社会資本整備や市町村に港湾・消防などの総合的に国費が配分された。これを受けて道は、関係市町村の追加交付金を有効活用できる事業にあたるため追加額を財源とした工事の新規発注を期待できそ

主な追加配分状況(国費ベース)を見ると、道と関係市町村が実施する「冬季における安全で円滑な通行の確保」に約7億400万円、「北海道における総合的な治水政策の推進」に約3億500万円規模になるなど試算している。

道内に配分されたのは、75の計画に対する資金を整備総合交付金50億9310万1000円のみで、2011年度当

北海道建設業界

発行所
北海道建設新聞社
〒060-0004 札幌市中央区北4条西19丁目1番地11
TEL (011) 611-0331
FAX (011) 621-2913
TEL (011) 28-25411

カラマツ集成材ハウス現場事務所に初導入

年間2~3棟製作へ

【根室】篠田興業(本社・標津)が製作した、カラマツ集成材ハウスの「カラリン(廣林)工房」が、現場事務所として初めて導入された。

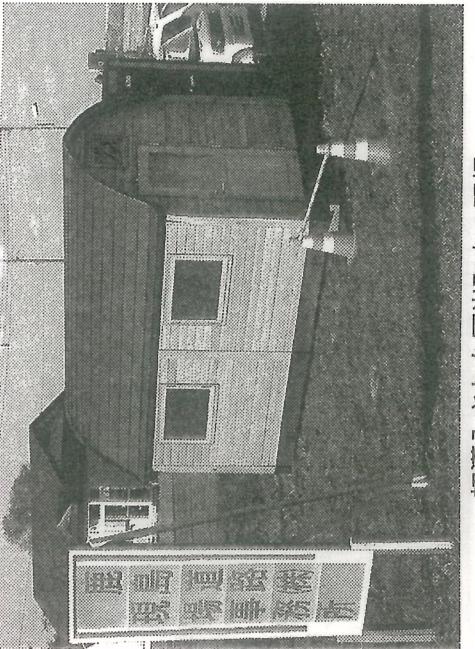
国土交通省の「建設業と地域の元気回復助成事業」で開発したD型形成集成材の技術を活用して道厚岸線自歩道を譲り受け、鹿島道路が採用。牧草地帯にアシナガ伐りが好評を得ている。今後は、藤本建設(同)などが好評を得ていて、道内に使われる。

平屋建の5平方メートル

の地元企業と連携し、冬の限敷期に年間2~3棟を製作する考えだ。

国土交通省は、カラマツ集成材ハウスでは最小クラスだが、用途に応じてサイズ変更が可能だという。

9日の搬入直後から地域住民の目を引くつけている。鹿島道路標津出張所の岩谷所長は「遠隔操作が可能してくれた」と



初導入された厚岸町内の現場

高齢者の行動可視化 3次元センサー利用の介護支援システム開発

清水建設は、センサーを用いて要介護者や高齢者行動を観察するにじみない。3次元距離センサーにて、感知した赤外線が辰巳で、センサーが対象物の距離を算出する測定器を活用。取得した距離情報を基に居室形状を示す3次元座標データを作成する。

プロトタイプは、特定の方向に照射して赤外線として認識するため、反射時間が短くなることで人の入室を感知し、反射時間が変化した

樹脂80%以上使い、イメージアップ効果は抜群。見た目がまたいで、R型屋根や木の香りなどこれまでのハウスとは違う。気に入った様子。回転が速く、少人数子供が喜ぶ。勝手の良いサイズで、防止にも良いのでは」と話す。篠田興業社長は「雇用を維持するには、雇用期間が不可欠だ。安価に複雑な集成材を製造できる機械の開発が将来性を高めてくれた」と

赤外線の照射方向と反射時間から3次元座標を認識。人の真ん(頭)、肩、心の座標の動きスピーディ、両座標位置の位置から行動を把握する。

動き上りの検知して感知するため、迅速な徘徊(はいかい)対応ができる。

